

## 総合的な学習の時間 「やさしい町 下平間」

川崎市立下平間小学校



### 単元（題材）目標

○身の周りの人に対して、その人の立場になって、思いやりの心を持ち、互いを大切にしながら、下平間の町で過ごしていけるようにする。

### （1）実施時期

9月中旬

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 75名



### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年担任 4名

外部講師：市内ボランティアサークル「太陽の会」8名

### （4）実施内容

#### ○前半（学年合同：多目的ルーム）

##### ①校歌を手話で歌う。

- ・昨年度、手話を付けてもらった校歌を聴いてもらう。

##### ②挨拶、自己紹介

- ・突如手話で自己紹介をしてもらったあと、手話通訳の方に同時通訳してもらう。

##### ③ロールプレイング（歩道での出来事・電車内での出来事）

- ・聴覚障がいがあると、何が困るのか、自分たちはどう関わっていけばよいか、体験しながら実感をもてるようにする。

#### ○後半（学級：各教室）

##### ①手話や関わり方の体験

- ・生活で多く使う手話で会話をする。
- ・筆談や空書も含め、実際にどう関わっていけるか学ぶ。



### （5）成果〈生徒の感想などから〉

○連合音楽会で歌う曲を決める際に「誰にでも伝わるようにしたいから、手話をいれたい。」

と子どもたちが考え、『Believe』に手話を付けて歌った。

○手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。

#### 〈児童感想 一部抜粋〉

○手話で話ができうれしかった。困っている人がいたら、まずは声をかけたい。

### （6）その他

○手話以外にも、盲導犬や点字等の体験も行ったことで、様々な視点で身の周りの人と関わろうとする姿につながった。